

クラインガルテンだより

■発行／松本市指定管理者 四賀むらづくり株式会社 〒399-7404 長野県松本市取出481-1 TEL.0263-64-4447 FAX.0263-88-4447 令和4年8月1日 ■印刷／楸原ラト

2022 夏号 Vol.47

御射鹿池の緑の風わたる

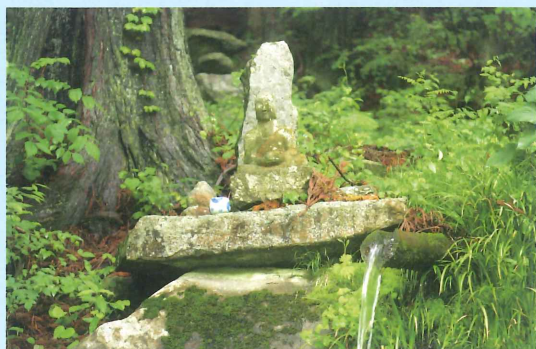
四賀地区

とっておきの

場所

岩屋の清水

四賀に育った子どもにとっては小学校の遠足で、乾いた喉をうるおした記憶があるでしょう。有機センターの入り口から車で10分ほど。石地蔵の脇に、冷たい湧き水が絶えず流れ出ています。



松本市の四賀から、日帰りで行きつけられる夏のおすすめスポットを紹介します。

日本画の大家・東山魁夷がこの池に魅せられて描いた作品が知られる「御射鹿池」。八ヶ岳の山懐で、奥蓼科温泉郷に分け入る道沿い、標高1,500mの所にあります。

夏は清らかな水面に緑色の風が渡る、涼やかな景色。四季それぞれの彩りを映し出す風景は神秘的で、訪れる人々の心をつかみます。

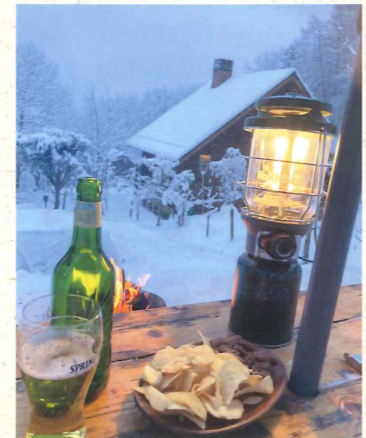
また近くには、いくつもの滝を辿って渓谷を散歩できる「横谷峽」も人気で、秋には紅葉に彩られる渓谷美が魅力です。ときには八ヶ岳の懐に、足を運んでみるのも良いでしょう。



四賀ガルテナーの楽しみ
ガルテンは何してん!?

「席は6人分だけれど、椅子を持ってきてもらえばもつと座れるね」。そう言いながら尾田さん夫妻が座ったのは、邦夫さん手造りのテラス席です。緑ヶ丘を眺めながら、奥へ奥へと立体的に連なる山々が見渡せる、ラウベのベストポジション

**限られた時間を大切に
夫婦で自然の中にいる幸せ**



ンにあります。

「テラスができてから、お酒の量が増えちゃったわね」と、笑顔の香代子さん。1年前に造って以来、朝昼晩の食事はもちろん、通りかかる人を誘ってお酒を酌み交わしたり、雪景色を眺めたり。ラウベで過ごす日が晴れていけば、ほとんどを屋外で過ごすという2人にとって、欠かせない場所になっっているようです。



「山とお酒と温泉が大好き」と



「先輩ガルテナーの皆さんたちから、畑や野菜、お花の育てかたを教えていただいています。共用部、山際の草刈りや清掃と一緒にやらせていただくなど、とても気持ちよく暮らせていることを感謝しています。毎日小鳥の声で目覚め、夜には月や満天の星を愛で、冬には雪見酒を楽しんだり、都会ではできない暮らしを楽しんでいます」。



「現役で仕事をこなし、二人は、それぞれ全国を飛び回る忙し

「いいところです、本当に。雨の後なら山から流れ出る水の音も聞こえて、とても幸せ」と香代子さん。一方、邦夫さんは木を切ったり薪割りをしたりするのが一番の楽しみで、「端材で人形を彫ったり、絵も描いたりして、ここに来て物づくりに目覚めました」と楽しそうに話します。



「仕事をのんびりと楽しむこと。月に1〜2週間とい

緑ヶ丘ラインガルテン 347号
尾田 邦夫さん(61)・香代子さん(61)夫妻

坊主山クラブハウス西側の道路沿いに、地元の方から有機実験圃場としてお借りしている畑があります。数年前から、その一部を「ラウベだけでは畑が足りない」というガルテナーさん数人にお貸ししています。今回は、その中から3人の方をご紹介します。



もっと耕したい/
ガルテナーさんへ

じっくり土作りから T・Tさん (73)

2022年4月に入園しました。ラウベでは芝生に挑戦したいので、野菜作りをするには畑のスペースが足りず、ここを借りることにしました。この畑の土は雨が降ればべったりと長靴の裏にくっつき、乾けば固い塊になってしまう粘土質です。堆肥と有機肥料を入れるなどして土壌改良から始めました。1年目となる今年は、ジャガイモ、スイカ、メロンを植え、当初は

「スイカを皆に食べてもらおう」と思っていました。が、今は「スイカを1個作る」が目標です。ラウベの畑にもスイカを植えて保険をかけました(笑)。野菜作りは創造的な仕事だと思います。難しい分、達成した時は喜びも大きいはず。失敗を恐れず、時間をかけていい畑にしていきたいです。

地元の人との交流も 田中 俊郎さん (68)



ラウベの畑は、前の入園者が残っていた芝生や樹木で狭くなっているうえ、日当たりもよくないので借りました。

借りた畑は50㎡ほどありますから、長期間にわたって場所を占領してしまう玉ネギもゆったりと落ち着いて育てられます。今年はジャガイモにも広いスペースを取って、キタアカリ、メークイン、男爵の3種を植えました。それぞれの味わいが楽しみです。

この畑には、ほかにも大きな魅力があります。生活道路に面しているため、通りかかる人との会話が自然に生まれ、地元の人とも知り合えることです。先日も、何度かお話ししたことのある地元の方に雑草対策を教えてください、いろいろなお話をしたりして楽しいひと時を過ごしました。

きっかけはコンニャク 内田 清さん (75)



ガルテナー仲間にももらった自家製コンニャクがおいしくて、「自分でも作って皆に食べてもらいたい」と思い、この畑を借りました。コンニャク芋は収穫に3年かかりますが、初めて作ったコンニャクは秋の収穫祭で大好評でした。今はジャガイモや玉ネギ、枝豆や春大根、ルバーブなどを種から育てています。種から育てる理由は発芽にワクワクしたいから。長ネギは自家採取の種です。

採れた野菜は社協を通して自宅がある中野区内の子ども食堂に届けています。種から育てると収穫量が多くなりがちで、食べてもらえてありがたいです。道路側にギガンチウムを植えたのは行き来する人の目を喜ばせたいから。花を見て「ほっ」としてもらえたら嬉しいな。



行って
みよう!

クラインガルテンを拠点に出かけるイベント案内

Event information

※イベントは、発表時より変更されている場合があります。事前にご確認ください。※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今後の状況により中止あるいは延期の可能性あります。あらかじめご承知おきのほど、よろしくお願いいたします。

いせひでこ絵本原画展～「生きる」をみつめる

開催日 10月4日(火)まで(木曜休館、臨時休館あり)
ところ 絵本美術館&コテージ森のおうち 安曇野市
お問い合わせ 森のおうち ☎0263-83-5670

「たぬき」、「愛蔵版 グレイがまってるから」(以上、平凡社)などの絵本原画展。入館料は800円、小中学生500円、3歳以上250円。9月4日(日)13:30から、柳田邦男特別講演会「絵本の力を見直そう」。参加費は大人3000円、小学生1500円(完全予約制、入館料込み)。

時の記憶:新・世界の古時計展

開催日 7月30日(土)～9月11日(日)
(月曜休館、8月15日は臨時開館)
ところ 松本市時計博物館 松本市
お問い合わせ 時計博物館 ☎0263-36-0969

開館20周年記念展。古時計の研究者であり技術者だった本田親蔵のコレクションを中心に開館した同館。世界の貴重な古時計を通して館のあゆみや時計産業の歴史を振り返る。入館料は大人310円、小中学生150円。(9月1日は開館記念日で無料開放)

企画展「草間彌生 版画の世界」

開催日 9月25日(日)まで
ところ 松本市美術館 松本市
お問い合わせ 松本市美術館 ☎0263-39-7400

シルクスクリーンやエッチングなど、松本市美術館が所蔵する約350点の版画作品を中心に展示。入館料は大人1200円、高大学生・70歳以上の市民800円。中学生以下無料。月曜休館(祝日の場合は翌平日休)、8月は無休。

星空散歩「中秋の名月を自分で観測しよう」

開催日 9月10日(土)19:30～、20:30～
ところ 松本市教育文化センター 松本市
お問い合わせ 教育文化センター ☎0263-32-7600

中秋の名月に合わせて開催。貸し出しする小型望遠鏡の操作方法を学んだあと、屋外で満月を観測。雨天、曇天の場合は天体観測ドームの見学などを予定。対象は小学生以上。定員各30人。無料。申し込みは8月31日(水)8:30から。

ミシェル・ブヴァール オルガンリサイタル

開催日 11月5日(土)14:00開演(開場13:00)
ところ ザ・ハーモニーホール 松本市
お問い合わせ 松本市音楽文化ホール ☎0263-47-2004

フランス・オルガン界の巨匠による初めての松本公演。バッハと同時代に花開いたフランス古典の作品や、生誕200年を迎えたセザール・フランクなどを演奏。チケットは一般3000円、25歳以下2000円。全席指定。8月13日から発売。

企画展「ガラスの美」

開催日 9月11日(日)まで
(月曜休館、祝日の場合は翌平日休)
ところ 松本民芸館 松本市
お問い合わせ 松本民芸館 ☎0263-33-1569

丸山太郎のコレクションを集めた松本民芸館。機関誌「民藝」で太郎は「～厚手の安ガラス器にも大変心をひかれる美しいものがある」と記している。独自の審美眼で集めたガラスの器を展示。入館料は大人310円、中学生以下・70歳以上の市民は無料。

企画展「さかなづくしー水辺に集う生き物たちー」

開催日 9月25日(日)まで
(月曜休館、祝日の場合は翌平日休)
ところ 日本浮世絵博物館 松本市
お問い合わせ 日本浮世絵博物館 ☎0263-47-4440

浮世絵に描かれた魚や水辺の生き物から、江戸の人々の暮らしを紹介。前期は8月14日(日)まで、後期は8月16日(火)から作品を入れ替えて展示。8月14日、9月19日(祝・月)は14:00からギャラリートーク。入館料は大人1000円、中高大学生は500円、小学生以下無料。

国宝松本城「新能」

一かがり火が照らし出す幽玄な世界ー

開催日 8月8日(月)17:30～20:30(18:00開演)雨天中止
ところ 国宝松本城二の丸御殿跡 特設舞台
お問い合わせ 松本城管理課 ☎0263-32-2902

火入れ式のあと、松本城のシルエットを背景に、かがり火の中で行われる野外能。演目は、宝生流による能「蟬丸」、「舍利」、狂言「附子」。鑑賞料は無料。

